

各位

会社名 ヒビノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 日比野 晃久
 (コード番号 2469 東証スタンダード市場)
 問い合わせ先 執行役員ヒビノ GMC 経営企画グループ担当
 大関 靖
 (TEL : 03-3740-4391)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、2025年5月23日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状を分析・評価し、改善に向けた方針及び取り組みについてアップデートした内容を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

ROE (自己資本当期純利益率) は、新型コロナウイルスの影響により 2021年3月期に著しく低迷しました。2025年3月期は、売上高が2期連続で過去最高を更新し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも過去2番目の水準となった結果、ROE は 15.8%となりました。当社が認識する株主資本コスト 5%~8% (5期平均は7%) を上回り、資本収益性の高い経営を実現しています。

PBR (株価純資産倍率) は 1.5倍~2.1倍の間で推移し、安定して1倍を上回っています。2025年3月期は 2.1倍となり、当社グループの成長性について、投資者から一定の評価と期待を得ていると認識しています。

さらなる企業価値向上に向けては、株主資本コストを上回る ROE の継続的な達成に向けた取り組みが必要であり、ROE の向上及び株主資本コストの抑制の両面からアプローチしていくことが重要であると考えています。

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
売上高 (百万円)	30,523	42,426	41,922	50,491	59,473
営業利益 (百万円)	△4,073	1,339	1,229	2,814	4,171
経常利益 (百万円)	△2,636	1,921	1,400	2,951	3,924
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	△2,423	1,074	607	1,627	1,722
EPS (1株当たり当期純利益) (円)	△244.76	108.66	61.37	164.00	173.49
BPS (1株当たり純資産) (円)	764.75	870.63	918.90	1,050.85	1,150.71
ROE (自己資本当期純利益率) (%)	△27.3	13.3	6.9	16.7	15.8
期末株価 (円)	1,623	1,556	1,395	1,916	2,396
PER (株価収益率) (倍)	△6.6	14.3	22.7	11.7	13.8
PBR (株価純資産倍率) (倍)	2.1	1.8	1.5	1.8	2.1

2. 改善に向けた方針

当社グループの資本収益性及び市場評価の改善に向けては、中期経営計画「ビジョン 2025」の着実な実行と非財務の取り組み（サステナビリティマネジメント、コーポレートガバナンス、IR・PR）の強化が重要であると考えています。これらにより、売上成長と収益性改善を軸とした ROE の向上及び株主資本コストの抑制を図り、持続的な企業価値向上を目指します。

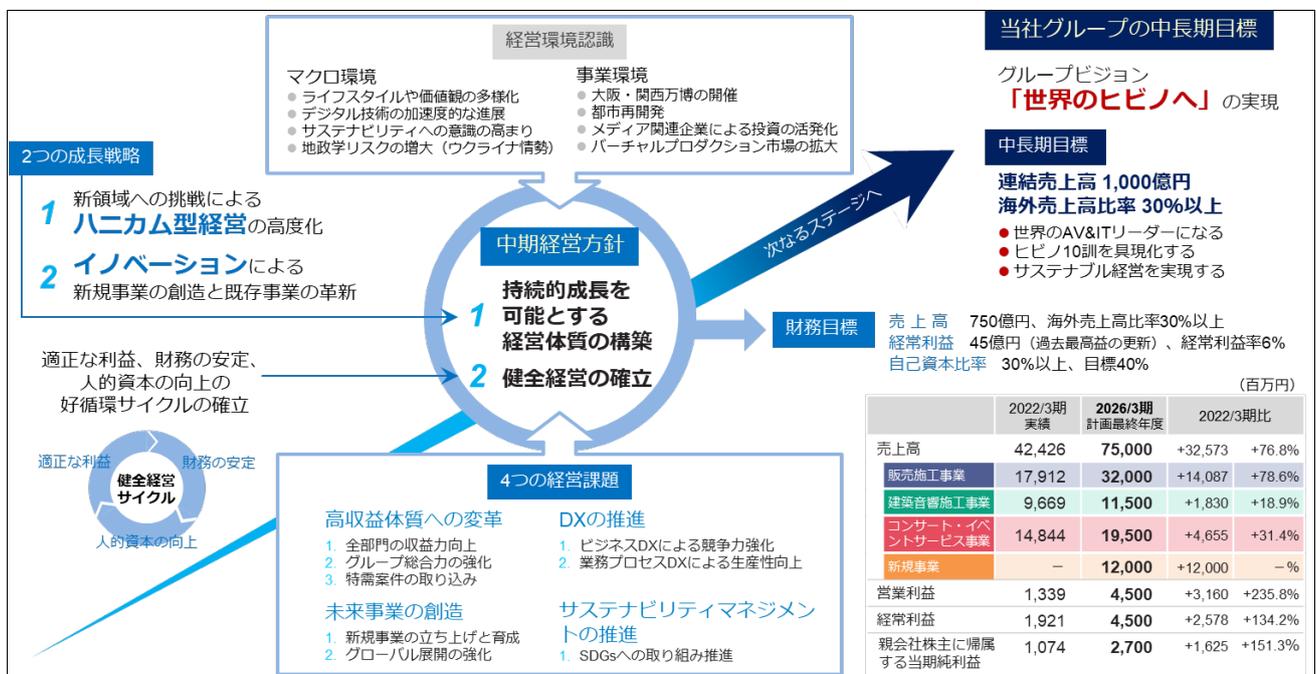
3. 具体的な取り組み

(1) 中期経営計画「ビジョン 2025」の着実な実行

当社グループは、グループビジョン「世界のヒビノへ」の実現に向け、中期経営計画「ビジョン 2025」（2023年3月期～2026年3月期）に取り組んでいます。本中期経営計画では、中期経営方針として「持続的成長を可能とする経営体質の構築」「健全経営の確立」の2つを掲げています。「ハニカム型経営」と「イノベーション」を成長戦略の柱とし、M&Aも活用して新領域を開拓するとともに、適正な利益、財務の安定、人的資本の向上の好循環サイクルを確立していきます。当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的な配当（持続的な利益成長と連動した安定的な増配）と機動的な自己株式の取得により、株主還元の一層の充実に取り組んでまいります。

本中期経営計画の最終年度である2026年3月期の財務目標は、売上高750億円（業績予想は660億円）、経常利益45億円（業績予想は40億円）、自己資本比率30%（目標40%）であり、売上成長と収益性改善を同時に実現します。

中期経営計画「ビジョン 2025」（2023年3月期～2026年3月期）の概要



(2) 非財務の取り組みの強化

当社グループは、以下の非財務の取り組みを通じて株主・投資家の皆様とのエンゲージメントを強化し、資本市場からの適切な評価を獲得して株主資本コストの抑制を図ります。

① サステナビリティマネジメント

- ・当社グループが取り組むべき4つの重要課題（マテリアリティ）と15の取り組みテーマを特定し、指標（KPI）と目標を設定。取り組みの進捗を有価証券報告書等において報告

② コーポレートガバナンス

- ・最近5期における取り組み

2022年3月期～	社外取締役を2名選任（2025年5月現在における取締役は8名） 任意の指名委員会及び報酬委員会を設置 取締役のスキル・マトリックスを開示
2024年3月期～	第三者である外部機関を活用した取締役会の実効性評価を実施
2025年3月期～	取締役及び執行役員に対し株式報酬制度を導入

- ・コーポレートガバナンスの実効性のさらなる高度化

③ IR・PR

- ・機関投資家・株主との対話等を通じて当社グループの成長性について共有するとともに、対話等によって認識された課題を経営陣に共有し、今後の意思決定に反映
- ・コーポレートサイト等による財務情報、非財務情報の開示や発信機会の拡大により、情報開示の質を充実
- ・統一ブランド「ヒビノ」のもと、広告や業務ツール等を通じて企業ロゴの露出を強化し、国内外におけるブランド認知の向上を推進

以 上